

1. 学歴

1995年 3月 東京女子大学現代文化学部言語文化学科 卒業

2001年 3月 筑波大学大学院教育研究科カウンセリングコース 修了 (カウンセリング修士)

2. 職歴・研究歴

1995年 4月 国連登録 NGO 横浜国際人権センター勤務

1997年 4月 国際交流基金日本語国際センター勤務

2001年 5月 タイ王国カンペンペット地域総合大学人文科学部勤務 専任講師

2003年 7月 一橋大学経済学研究科勤務 専任講師

3. 学内教育活動

A. 担当講義名

(a) 学部学生向け

- ・基礎ゼミ～カウンセリング心理学の基礎～ (経済学部)
- ・留学生のための社会科学ゼミナール (全学共通教育科目)
- ・留学生理解と国際教育交流 (全学共通教育科目)
- ・海外留学と国際教育交流 (全学共通教育科目)

C. 講義およびゼミナールの指導方針

基礎ゼミでは、自分自身を内省的に観察し、訓練することによって、現代社会におけるストレスや発達上の諸問題に対する対処法について、講義、受講者の発表と実践を通して習熟することを目指す。

全学共通教育科目では、異文化交流に関する理論を、グループワークやペアワークなど実践的な活動を通して体験することで、理解を促す方法に主眼を置く。

4. 主な研究テーマ

(1) 在タイ邦人の精神保健

在タイ邦人のための精神保健支援機関の役割と、各機関の連携についての結果が"Mental Health Support System for Expatriates in Thailand" である。また、スマトラ沖地震をきっかけに文化的視点を持った PTSD ケアに対する介入について述べたのが、"Culturally Based Intervention for Post Traumatic Stress" である。さらに、現在、GHQ を使った在タイ邦人の精神保健度を文化変容度、ソーシャルサポート等から検討中である。

(2) 発達障害をもつ外国人留学生の支援

発達障害の中でも学習障害、ADHD を持った留学生が増え、日本語教育現場を中心に問題が顕在化しつつある。こういった障害を抱える学生を大学全体としてどう支援していくのかの仕組みを考える。

5. 研究活動

A. 業績

(b) 論文 (査読つき論文には*)

* 「国際資料室における来談状況の分析 院生チューターの役割を中心に」 『一橋大学留学生センター紀要』
7, 45-96 頁, 2004 年 7 月。

"Mental Health Support System for Expatriates in Thailand", *Hitotsubashi Journal of Social Studies*, 36(2),
Hitotsubashi University, 61-72, Dec., 2004.

"Culturally Based Intervention for Post Traumatic Stress", *Hitotsubashi Journal of Social Studies*, 38(1),
23-32, Hitotsubashi University, July, 2006.

B. 最近の研究活動

(a) 国内外学会発表

「日本人からの援助行動に対する留学生の意識」 日本教育心理学会第 46 回大会, 2004 年 10 月

「タイにおける邦人のための精神衛生サポートの現状 関連機関の活動と機関間連携を中心に」, 第 12 回多文化間精神医学会, アクロス福岡, 2005 年 6 月

「留学生への教育態度と援助行動の関係」 (田上不二夫との共同発表), 日本カウンセリング学会第 38 回大会, コンセーレ・栃木県教育会館, 2005 年 8 月

「タイにおける津波被災地の現状と現地支援活動の報告」, 関東ストレスマネジメント研究会, 立正大学, 2005 年 12 月

「心理・精神保健に対する在タイ邦人のニーズとその対応」, 第 13 回多文化間精神医学会, 山口県健康づくりセンター, 2006 年 3 月

(b) 国内研究プロジェクト

「東南アジアにおける邦人の精神衛生管理システムの実態」 医療科学研究所研究助成 2004 年度 (研究代表者)

「タイ大学における臨床心理教育への予防・開発的援助 異文化間ストレス・マネジメントに関するカリキュラム・教材開発を中心に」 三井住友銀行国際協力財団研究助成2005年度 (研究代表者)

6. 学内行政

(b) 学内委員会

留学生センター運営委員会委員 (2003 年 7 月-2004 年 3 月)

セクハラ相談委員会 (2004 年 4 月-2005 年 3 月)

学生国際交流委員会 (2004 年 4 月-現在)

7. 学外活動

(b) 参加学会および学術活動

日本カウンセリング学会

日本教育心理学会

多文化間精神医学会

コミュニティ心理学会